

平成29年（2017）8月 入域観光客数概況

8月の観光客数は、100万2,500人
対前年（H28）同月比 +7万5,600人、+8.2%
～初の100万人台を記録。単月の過去最高を更新～

入域状況

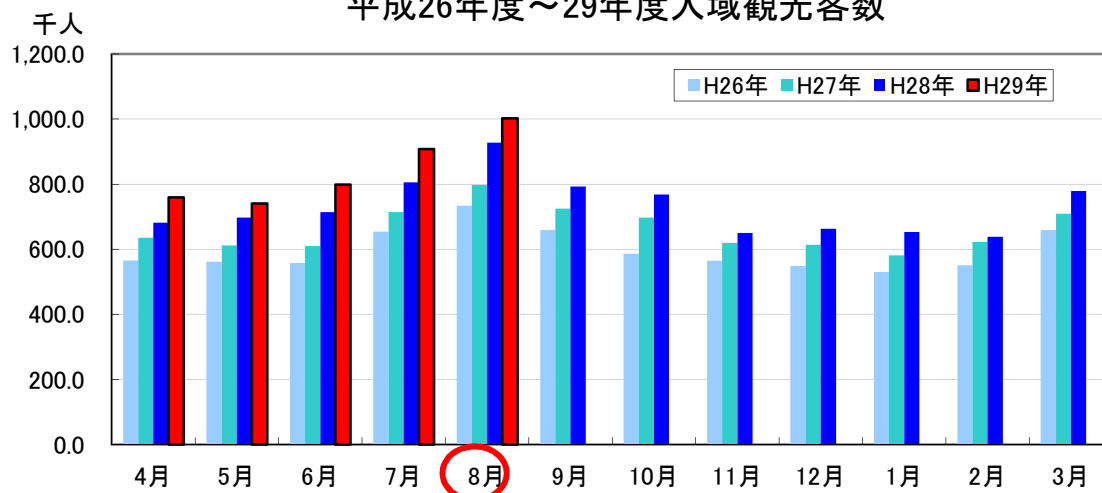
入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	726,800 人	694,900 人	+ 31,900人	+ 4.6%	72.5%
外国客	275,700 人	232,000 人	+ 43,700人	+ 18.8%	27.5%
合計	1,002,500 人	926,900 人	+ 75,600人	+ 8.2%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	726,800 人	694,900 人	+ 31,900人	+ 4.6%	75.3%
外国客	238,700 人	197,300 人	+ 41,400人	+ 21.0%	24.7%
合計	965,500 人	892,200 人	+ 73,300人	+ 8.2%	100.0%

平成26年度～29年度入域観光客数



国内客 入域状況

8月は、トップシーズンに入り旅行会社による販売状況が良好であったこと、航空路線の拡充やお盆期間の増便があったこと、台風の影響がほとんどなかったこと等により、前年を上回り、単月の過去最高を記録した。

9月は、深夜便等航空路線の拡充が継続し、各旅行会社の予約状況が前年同月並みにあること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

8月は、トップシーズンの旅行需要に加え航空路線の拡充があったことで空路客が増加したことや、クルーズ船の寄港回数が増加し海路客も増加したこと等から前年を上回った。

9月は、台風の影響が懸念されるものの、引き続き前年同月に比べて航空路線の拡充があることや、クルーズ船の寄港回数についても前年同月並みにあること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	359,200 人	351,600 人	+ 7,600人	+ 2.2%	49.4%
関西方面	153,100 人	145,600 人	+ 7,500人	+ 5.2%	21.1%
福岡方面	88,400 人	80,200 人	+ 8,200人	+ 10.2%	12.2%
名古屋	58,300 人	54,800 人	+ 3,500人	+ 6.4%	8.0%
その他	67,800 人	62,700 人	+ 5,100人	+ 8.1%	9.3%
合計	726,800 人	694,900 人	+ 31,900人	+ 4.6%	100.0%

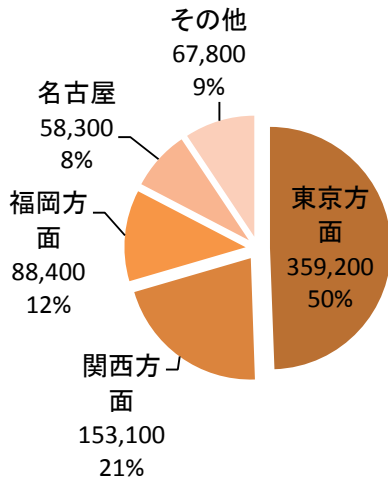
※国内海路客4,600人を含む(鹿児島4,300人、その他300人)

外国客 国籍別入域状況

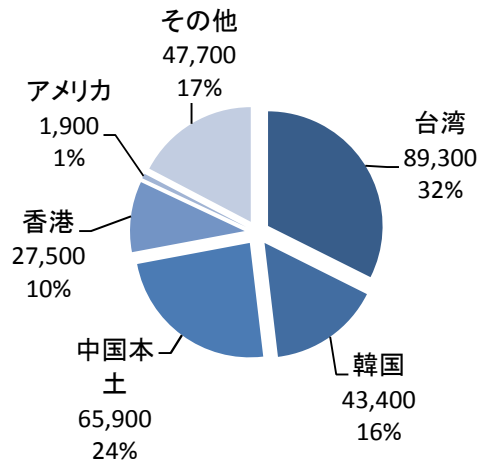
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H29年度	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	89,300 人	89,300 人	66,500 人	+ 22,800人	+34.3%	32.4%
韓国	43,400 人	43,400 人	40,100 人	+ 3,300人	+8.2%	15.7%
中国本土	65,900 人	65,900 人	57,000 人	+ 8,900人	+15.6%	23.9%
香港	27,500 人	27,500 人	23,000 人	+ 4,500人	+19.6%	10.0%
アメリカ	1,900 人	1,900 人	1,600 人	+ 300人	+18.8%	0.7%
その他	47,700 人	10,700 人	43,800 人	+ 3,900人	+8.9%	17.3%
合計	275,700 人	238,700 人	232,000 人	+ 43,700人	+18.8%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	54,900 人	54,900 人	+32.9%	35.0%	34,400 人	34,400 人	+36.5%	29.0%
韓国	43,300 人	43,300 人	+9.9%	27.6%	100 人	100 人	△85.7%	0.1%
中国本土	26,700 人	26,700 人	+6.0%	17.0%	39,200 人	39,200 人	+23.3%	33.0%
香港	21,800 人	21,800 人	+20.4%	13.9%	5,700 人	5,700 人	+16.3%	4.8%
アメリカ	1,600 人	1,600 人	+14.3%	1.0%	300 人	300 人	+50.0%	0.3%
その他	8,600 人	8,600 人	+16.2%	5.5%	39,100 人	2,100 人	+7.4%	32.9%
合計	156,900 人	156,900 人	+18.1%	100.0%	118,800 人	81,800 人	+19.8%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

8月は、航空会社による深夜便の実績が良好なことや、お盆期間の増便等により入込が増加したこと等から、前年を上回った。

9月は、深夜便など提供座席数の増加があることや、旅行会社では間際での申込傾向が見られ、取扱増が期待できること等から好調に推移する見込み。

大阪

8月は、スカイマークの増便により輸送実績が増加したことや、お盆期間の増便等により入込が増加したこと等から、前年を上回った。

9月は、先行割引航空券などの予約状況が良好なことや、旅行会社では販売の追い込みを展開し、前年並みの販売が期待されること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

8月は、航空会社の先行割引航空券などの販売実績や、ファミリー層を中心とした旅行商品の販売が良好なこと等から、前年を上回った。

9月は、引き続き航空会社の先行割引航空券などの予約状況が前年同月を上回る見込みであるほか、旅行会社では販売の追い込みをかけ、取扱増が期待できること等から好調に推移する見込み。

名古屋

8月は、スカイマークの深夜便等航空路線の拡充があったことや、ANA宮古島直行便効果で離島を中心に販売実績が高かったこと等から、前年を上回った。

9月は、引き続き離島直行便を中心に航空会社の予約状況が良好なことや、旅行会社の予約状況も前年並みに見られること等から堅調に推移する見込み。

台湾

8月は、前年同月と比べて航空路線の拡充があったことや、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

9月は、台風の影響が懸念されるものの、引き続き航空路線の拡充があることや、クルーズ船の寄港予定があること等から堅調に推移する見込み。

韓国

8月は、光復節(8/15)を絡めた連休で近距離旅行が増加したことで、空路客を中心に前年を上回った。

9月は、前年同月と比べて航空路線の拡充があることや、月末から旅行会社のチャーター便が予定されていること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

中国本土・北京

8月は、航空会社の予約状況が前年同月並みにあったことや、家族旅行を中心に旅行商品の販売状況が良好なこと等から、前年を上回った。

9月は、夏場のピークを避けた個人旅行客が増加している傾向が見られるほか、下旬から国慶節休暇の需要が多くなることが見込まれること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・上海

8月は、前年同月と比べてクルーズ船の寄港回数が増加し、大型化で一度に数千人単位の入込が複数回あったこと等から、前年を上回った。

9月は、航空路線数が前年同月並みにあることや、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

香港

8月は、香港エクスプレスの香港－石垣路線の増便を含む航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港等から、前年を上回った。

9月は、前年同月と比べて航空路線の拡充があることや、香港発クルーズ船の寄港予定があること等から好調に推移する見込み。